

平成25年度事業報告 <はしわたし>

はじめに

4月から2名体制で計画相談と一般相談及び相談支援部会等の業務を行った。

計画相談については、平成26年3月現在72名の利用者が、登録をしている。(鶴居村利用契約分14名) 児童の利用者は、5名計画相談している。

平成18年に相談支援が、制度化され平成24年4月から計画相談が、福祉サービスを利用する障害者に対して義務化されてから相談支援事業所や行政も利用者の方も理解しにくいこともあり、なかなかスムーズに進んでいかない状況である。

利用者に対して相談支援専門員が、不足しており業務に混乱をきたしていることも事実である。

1. 主な活動

月	日	内 容
4	15	サービス担当者会議
	16	身障分会総会
	17	サービス担当者会議
	22	情報交換会
5	23	情報交換会
	29	ケース会議
	31	地活花見
6	3	サービス担当者会議
	6	食品衛生責任者講習
	18	情報交換会
	26	サービス担当者会議
7	1	サービス担当者会議
	2	サービス担当者会議
	14	全道障害者スポーツ大会(帯広市)
	24	市民後見人セミナー
	31	情報交換会
8	27	情報交換会
9	19	統合失調症家族・支援者学習会(中標津)
	30	情報交換会
10	9	ケース検討会議
	11	サービス担当者会議
	18	サービス担当者会議
	22	サービス担当者会議

	28	情報交換会
11	1	ケース検討会議
	14	ケース検討会議
	25	情報交換会
	28	自殺予防対策相談支援者研修会
12	3	サービス担当者会議
	9	後見人施設見学
	16	ケース検討会議
	18	ケース検討会議
	24	情報交換会
	27	忘年会
1	27	情報交換会
2	10	ケース検討会議
	13	サービス担当者会議
	21	自立支援協議会打ち合わせ
	27	相談支援部会
3	26	相談支援部会

①一般相談

- * 弟子屈町からの委託事業で保健師や事業所等関係者と連携を図り利用者の相談支援に努めた。
- * 利用者・家族等からの相談に応じた。

②計画相談

- * サービス利用計画の作成・モニタリングを実施した。
- * サービス担当者会議を開いて関係者の意見を聞いたり調整を行った。
- * 関係機関等への連絡調整を図った。

③自立支援協議会の事務

- * 保健師と相談支援事業所を構成メンバーとする相談支援部会を立ち上げた。

④地域資源の改善・開発

- * 介護保険サービスとの連携を図った。
- * 福祉サービスにつながるまでの間、地活を利用するなど社会資源を活用した。

2. 相談・支援件数

	相談室	訪問	電話	同行・連絡調整	病院付き添い	ケース検討会	当事者の会支援	計
4月	3	2	5	11	6	3	3	33
5月	5	4	7	8	1	1	4	30
6月	4	1	6	15	3	1	7	37
7月	2	2	4	7	1	3	2	21
8月	9	5	5	26	5	3	1	54
9月	4	2	5	18	1	2	2	34
10月	3	5	4	20	2	4	1	39
11月	2	4	6	5	1	2	1	21
12月	2	2	3	9	1	2	1	20
1月	1	7	4	16	1	3	1	33
2月	3	3	5	5	1	6	1	24
3月	4	4	4	4	3	3	1	23
計	42	41	58	144	26	33	25	369

*相談件数は、役場からの紹介等で増えている。

最近の特徴としては、障害手帳をもっていないボーダーの方やうつ病・躁鬱病等精神疾患の方が、増えている。

相談の形としてメールでの相談や不安を訴えたくるケースも出てきている。